



第3章 地域別構想

第1節 長岡地域

第1－1節 川東地域（長岡地域）

第1－2節 川西地域（長岡地域）

第2節 中之島地域

第3節 越路地域

第4節 三島地域

第5節 与板地域

第6節 栃尾地域

第7節 川口地域

第8節 山古志地域

第9節 小国地域

第10節 和島地域

第11節 寺泊地域

《地域別構想の区分等について》

・地域特性に応じたまちづくりを進めるため、地域コミュニティの結びつきや都市計画区域のまとまりに配慮し、以下の区分で地域づくりの方針を示します。

《長岡都市計画区域》

・長岡地域（川東地域、川西地域） ・中之島地域 ・越路地域 ・三島地域 ・与板地域

《栃尾都市計画区域》

・栃尾地域

《川口都市計画区域》

・川口地域

《都市計画区域外》

・山古志地域 ・小国地域 ・和島地域 ・寺泊地域

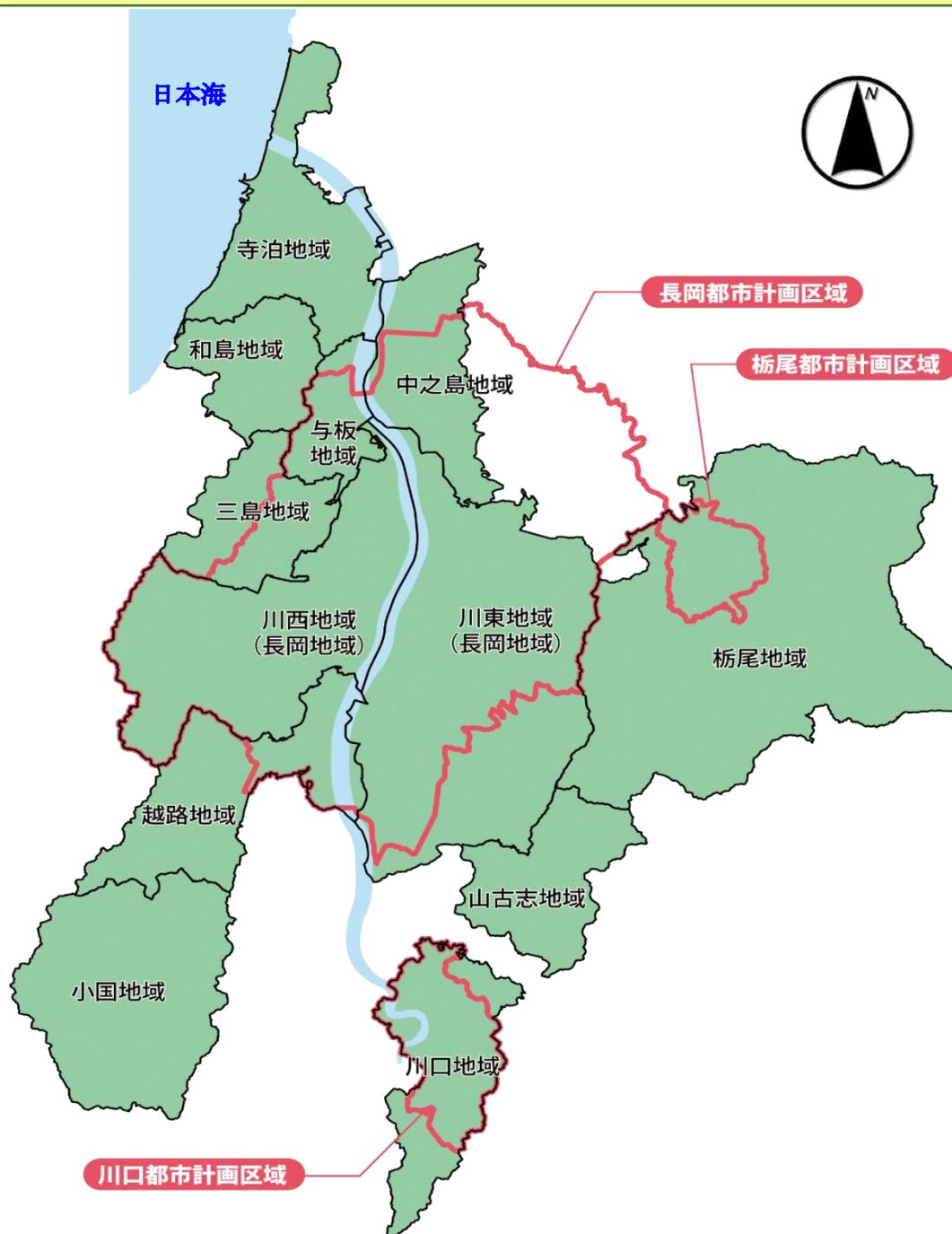


図3 《地域区分図》



ナツちゃん

第1節 長岡地域

第1-1節 川東地域



第 1-1 節 川東地域（長岡地域）

◀地域に関するデータ

（2020 年 4 月住民基本台帳）▶

- ・ 総面積： 157.5 km² (17.7%)
- ・ 総人口： 128,639 人 (48.1%)
- ・ 世帯数： 54,631 世帯 (50.4%)

※（ ）内は市全体に占める割合

1 地域の現状

(1) 人口

- 地域人口は、2020 年で 128,639 人。地区別人口増減（2009 年～2019 年）は、堤岡、東北、南、宮内、旭岡中学校区内で増加が見られるものの、その他では減少しており、地区全体では 0.9%の減少となっています。
- 市街化区域内には人口集中地区が広がり、その中で東北中学校区での人口集積が最も高く、次いで宮内、南中学校区で高くなっています。

(2) 産業

- JR 長岡駅を中心とする中心市街地をはじめ、長岡工業導入団地や南部工業団地などで就業の場が形成されています。卸売業・小売業、医療・福祉関連の第三次産業の集積が高いほか、長岡工業導入団地やその周辺では製造業を中心とした第二次産業が盛んです。
- 2015 年時点における経営耕地面積は 3,080ha、農家戸数は 1,046 戸です。

(3) 土地利用

- 行政機能をはじめとした都市機能を、JR 長岡駅を中心としたまちなかに回帰させ、さらなる都市機能集積を図る「コンパクトなまちづくり」を推進しています。
- マンション供給のほか、大規模商業店舗や医療施設、公共施設等の高度な都市機能は、中心市街地の都市機能誘導区域をはじめ、まちなか居住区域内に集積しています。
- 土地区画整理事業等により宅地供給が進んでいるものの、富曽亀地区において未分譲地が多くみられます。
- 中心市街地では低未利用地の増加に伴う都市のスポンジ化が発生しているほか、市街化調整区域内の農村集落では空き家が増加しています。
- 信濃川と国道 17 号に囲まれたまちなか居住区域の大半が、信濃川等の洪水浸水想定区域に該当しています。

(4) 生活基盤

- 国道 8 号・17 号を有するほか、ラダー型広域幹線道路網を構成する主要幹線道路が整備され、交通アクセス性に優れています。また、JR 長岡駅(上越新幹線駅を含む)のほか 4 駅を擁する、交通の要衝の地域です。
- 公共交通として鉄道(JR 長岡駅、宮内駅、北長岡駅、前川駅、越後滝谷駅)と路線バスが JR 長岡駅を拠点として運行されています。JR 長岡駅に近接するエリアでは、100 本/日を超える路線バスの運行があるものの、農村集落では、運行本数が減少しています。
- 悠久山公園や長岡市民防災公園など憩いの場となる都市計画公園が整備されているものの、都市計画道路については、長岡東西道路をはじめ一部に未整備区間があります。
- 上水道は、ほぼ全域に給水しています。下水道については、汚水処理が概成しているものの、老朽化した施設の更新や都市雨水対策としての雨水貯留管、排水ポンプ場の整備を進めています。

2 主な地域資源、地域の宝

- 様々なイベント会場としても活用される中心市街地の大手通り、国の登録有形文化財が集積する醸造のまち摂田屋地区や水道タンク、戦災資料館などの地域資源のほか、東山連峰をはじめとした豊かな自然や長岡野菜等の特産品があります。



摂田屋の街なみ

江戸時代から続く醸造のまち。歴史的な風情が残り、まちを歩けば、酒や味噌などの発酵香が漂ってくる。



シティホールプラザアオーレ長岡

JR長岡駅前に広がる中心市街地では、大手通りを軸に、シティホールプラザアオーレ長岡による市役所機能の移転をはじめ、子育て、健康・福祉、スポーツ・交流などの都市機能を集積。多様なまちなか型公共サービスを展開している。



長岡駅周辺 中心市街地



悠久山公園

長岡藩3代藩主牧野忠辰が、佐渡の杉や松、桜を植えたことがはじまり。市民から「お山」の愛称で親しまれるシンボリックな公園。

図 3-1-1-1 ≪主な地域資源 川東地域（長岡地域）≫

3 地域の課題と地域づくりの方針

中心市街地の活性化と低未利用地の解消を官民連携で推進するとともに、歴史・観光資源に磨きをかけ、更なる賑わいの創出と交流人口の拡大、並びに定住促進を図るほか、広域幹線道路網の整備や河川改修を促進し、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。

（1）都市機能集積による中心市街地の賑わいの創出と定住の促進

JR長岡駅前周辺の中心市街地では、広域かつ高度な都市機能を集積し、中越圏域の発展を牽引する都市づくりを進めてきたものの、空き店舗や空き地などの低未利用地化が進行していることから、都市活力の創出を図り、市街地の密度を高める必要があります。

大手通坂之上町地区市街地再開発事業により、中心市街地の利便性を高め、更なる都市機能集積を目指すほか、まちなか居住区域への居住誘導の推進、並びに民間主導による事業や取組を促進し、まちなかの賑わい創出を図ります。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大手通坂之上町地区市街地再開発事業の推進（米百俵プレイス（仮称）） ・ 民間主導による市街地再開発事業の促進 ・ 大手通り・すずらん・セントラル通りをはじめ各界隈の賑わいの創出 ・ まちなか居住区域への居住誘導の推進 ・ 民間施設の更新や跡地利用の支援 など
------	---

(2) ラダー型広域幹線道路網の整備推進

市域の中心として市民生活や産業活動を向上させるため、国道8号・17号バイパスをはじめとした主要幹線道路網が整備され、交通アクセス性に優れる良好な市街地が形成されてきました。

地域間における都市機能の共有化と交通アクセス性の更なる向上、並びに災害時におけるリダンダンシー機能の強化を図るため、長岡東西道路の4車線化や長岡東バイパス立体交差化などを進め、ラダー型広域幹線道路網の整備を推進します。

主な取組	<ul style="list-style-type: none">・長岡東西道路の整備促進・長岡東バイパスの整備促進 など
------	---

(3) 災害に強いまちづくり

信濃川水系河川が市街地内を多数流れる地勢のため、まちなか居住区域を含む市街地や田園地域の大半が洪水浸水想定区域に指定されています。また、東山の丘陵・山間部は土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定され、水災害への対応が課題となっています。

市街地の浸水リスクを軽減するため、寿町排水ポンプ場の整備を推進するとともに、農業用施設も組み合わせる緊急排水体制を強化する等、頻発・激甚化する豪雨災害から市民の生命・財産を守ります。さらに、地震時における安全・安心な道路空間を確保するため、無電柱化を促進します。

主な取組	<ul style="list-style-type: none">・信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの推進・河川改修の促進（浄土川・太田川・三ヶ字川）・河川のしゅん濇（柿川・栖吉川・猿橋川・稲葉川・浦加桂川）・土砂災害対策工事の促進・寿町排水ポンプ場の整備推進・八丁瀉排水機場の長寿命化の推進・長岡中央浄化センター自家発電設備の更新、耐水化・緊急排水体制の強化・無電柱化の促進 など
------	---

(4) 既成市街地の再利用と公有財産の活用の検討

土地区画整理事業などにより計画的に市街地が整備され、良好な都市基盤を有しているものの、人口減少や高齢化の進行に伴う、既成市街地内での空き地や空き家の増加のほか、公共施設の統廃合で発生した跡地などの遊休地化が課題となっています。

公共施設跡地における土地利用ニーズを把握し、地域活性化に資する土地利用を展開することで、居住環境の向上と低未利用地の解消を図るほか、都市のスポンジ化対策を促進し、既成市街地の低密度化の改善に取り組みます。

主な取組	<ul style="list-style-type: none">・公共施設跡地の利活用の検討 （桂小学校跡地、柳原分庁舎跡地、悠久山屋外プール跡地）・都市のスポンジ化対策の促進（国の支援制度の活用の検討）・駅前空きビルを活用した企業の誘致 など
------	--

（5）街なみ環境整備をはじめとした歴史・観光資源を活用したまちづくり

長岡地域（川東）には、旧三国街道沿いの摂田屋地区の街なみや蓬平温泉などの歴史・観光資源があり、これらの資源を活かした観光産業の強化が求められています。

摂田屋地区の「醸造の街なみ」や「鰻絵の蔵」などの魅力を向上させる「街なみ環境整備」を推進するほか、観光資源間の連携に取り組み、交流人口の拡大と観光客の滞在時間の延長を目指します。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・旧三国街道の摂田屋地区街なみ環境整備の推進 ・旧機那サフラン酒本舗の整備の推進 <p style="text-align: right;">など</p>
------	--

（6）地域の顔となる公園の再整備と多面的な利活用の促進

四季を通じて市内外の方から親しまれている悠久山公園や長岡市民防災公園は、多様な機能を有することから集客力もあり、様々な活動の拠点として利用されています。このため、将来にわたり公園を適正に維持・保全するとともに、さらなる活用に向けた取組が求められています。

公園利用者のニーズを捉え、官民連携による多面的な公園の利活用を促進します。さらに、歴史ある悠久山公園については次世代にも愛される公園として再整備するとともに、中心市街地に近接する長岡市民防災公園では、「花テラス」を拠点とした情報発信や花いっぱい運動の取組を推進し、賑わいとうるおいが感じられる市街地の創出を目指します。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携による公園の多面的な利活用の促進 ・悠久山公園の再整備事業の推進 ・緑化センター「花テラス」を拠点とした情報発信 ・花いっぱい運動の取組による緑化意識の啓発 ・市街化区域内農地の「緑地」としてのあり方の検討 <p style="text-align: right;">など</p>
------	---

（7）日常生活に配慮した都市基盤整備の推進

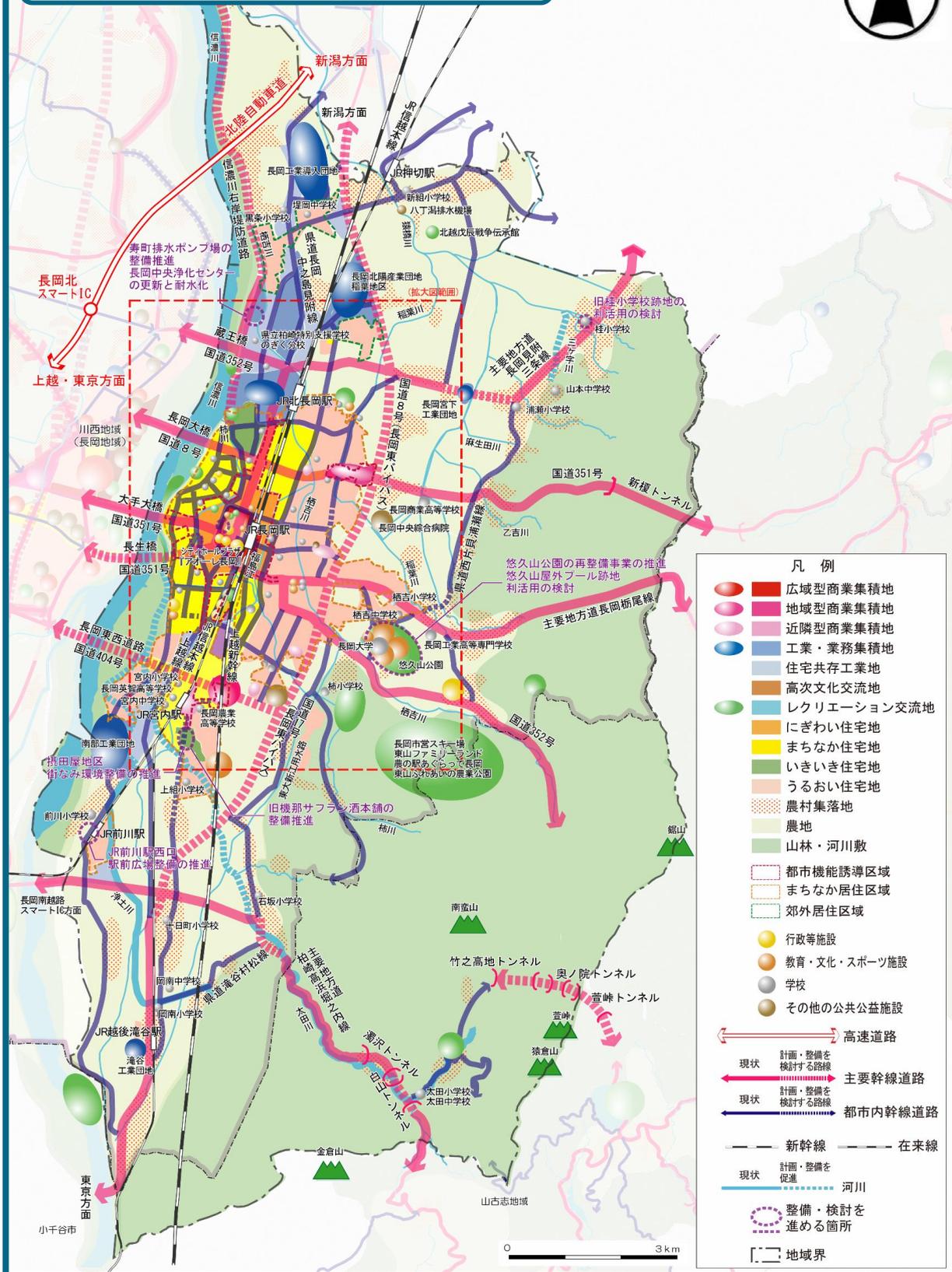
幹線道路や生活道路が整備されている一方で、既存道路では老朽化による損傷が増加しており、計画的な維持修繕が求められています。狭小な通学路については、道路拡幅や歩道整備による歩車分離など、安全な歩行空間を確保する必要があります。また、交通利便性に優れた地域であることから、低炭素社会の実現に向け、公共交通の利用環境の改善が求められています。

道路・橋りょうの長寿命化計画に基づいた維持・修繕を進めるとともに、交通渋滞の解消や通学路・自転車通行帯の整備などを推進し、誰もが安全・安心・快適に移動できる環境の整備を図ります。

また、前川駅西口駅前広場の整備をはじめとした鉄道の利用環境の向上に取り組み、地域での快適な暮らしに貢献する都市基盤づくりを目指します。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路、生活道路の整備推進 ・通学路、歩道の整備推進 ・蔵王橋周辺の抜本的な交通渋滞対策の検討 ・踏切安全対策の実施 ・自転車通行帯整備の延伸 ・長生橋（国道 351 号）の維持修繕の継続 ・JR 前川駅西口駅前広場の整備推進 <p style="text-align: right;">など</p>
------	--

地域づくりの方針図 川東地域(長岡地域)



- 凡例**
- 広域型商業集積地
 - 地域型商業集積地
 - 近隣型商業集積地
 - 工業・業務集積地
 - 住宅共存工業地
 - 高次文化交流地
 - レクリエーション交流地
 - にぎわい住宅地
 - まちなか住宅地
 - いきいき住宅地
 - うるおい住宅地
 - 農村集落地
 - 農地
 - 山林・河川敷
 - 都市機能誘導区域
 - まちなか居住区域
 - 郊外居住区域
 - 行政等施設
 - 教育・文化・スポーツ施設
 - 学校
 - その他の公共公益施設
- 高速道路
→ 計画・整備を検討する路線
→ 現状
→ 主要幹線道路
→ 計画・整備を検討する路線
→ 現状
→ 都市内幹線道路
→ 新幹線
→ 在来線
→ 現状
→ 計画・整備を促進
→ 河川
→ 整備・検討を進める箇所
→ 地域界

図 3-1-1-2《地域づくりの方針図 川東地域(長岡地域)》

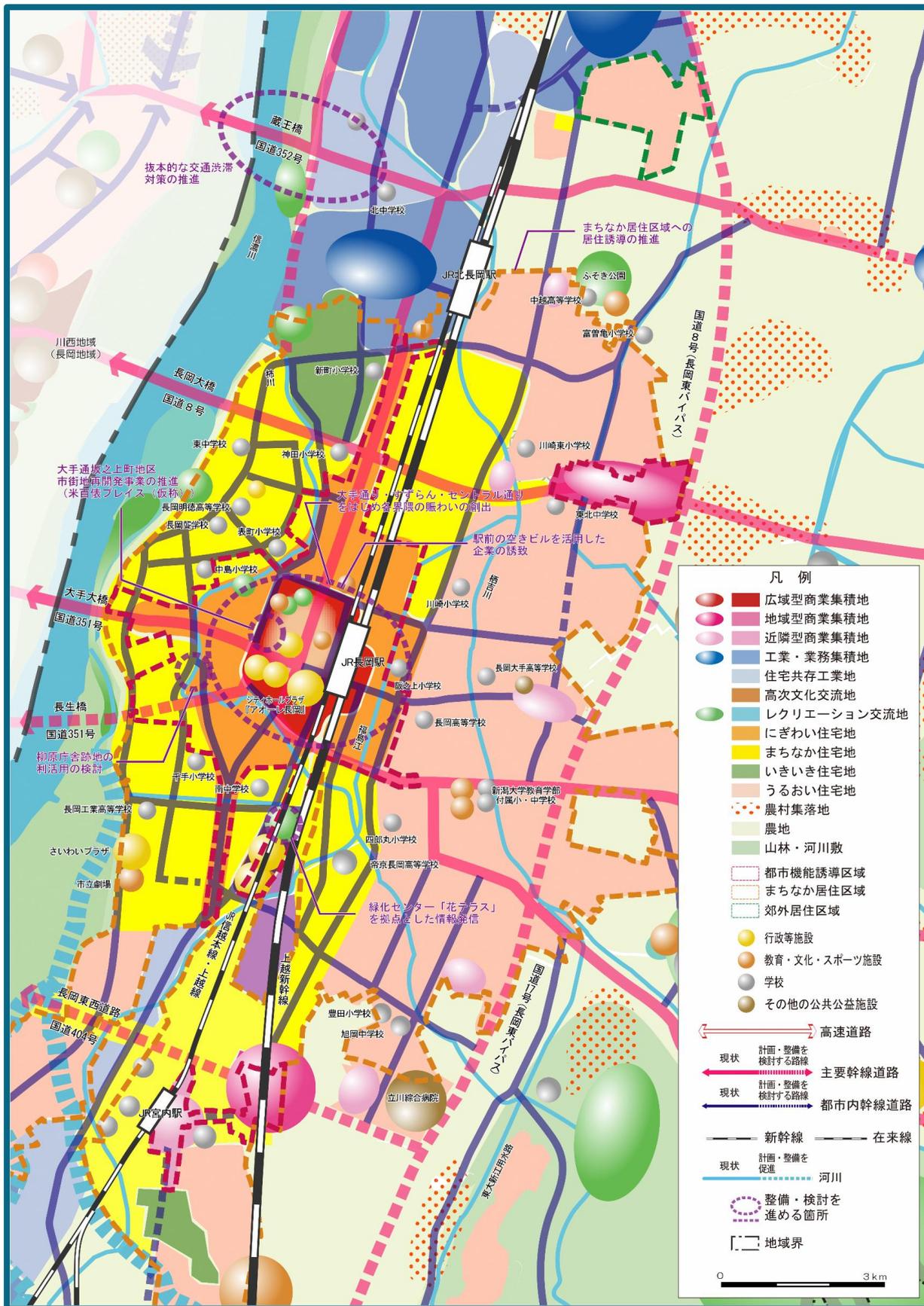


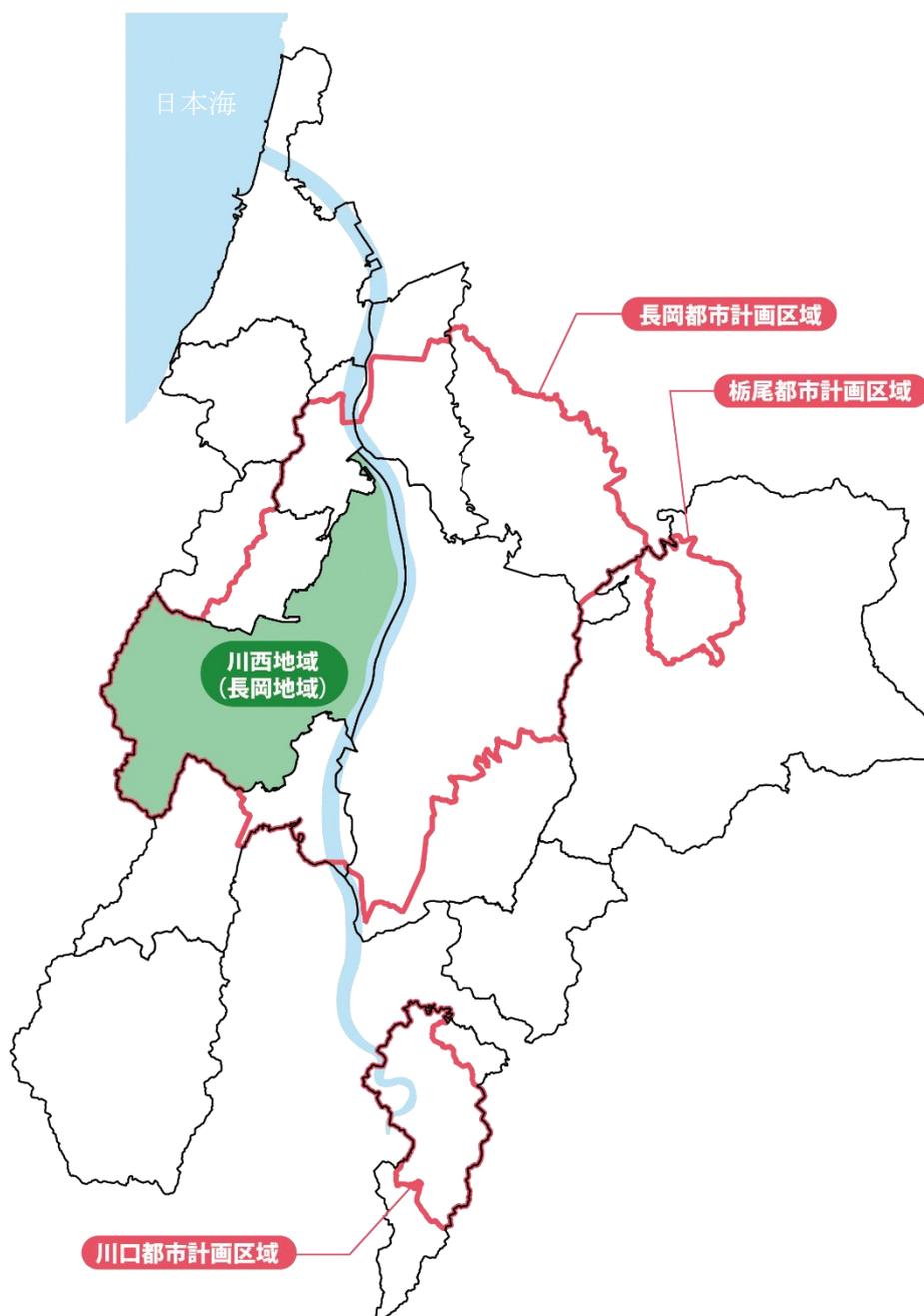
図 3-1-1-3《地域づくりの方針図 川東地域中央部（長岡地域）》



ナツちゃん

第1節 長岡地域

第1-2節 川西地域



第 1-2 節 川西地域（長岡地域）

◀地域に関するデータ

（2020 年 4 月住民基本台帳）▶

- ・ 総面積： 105.0 km²（11.8%）
- ・ 総人口： 61,046 人（22.8%）
- ・ 世帯数：25,002 世帯（23.1%）

※（ ）内は市全体に占める割合

1 地域の現状

（1）人口

- 地域人口は、2020 年で 61,046 人。地区別人口増減（2009 年～2019 年）は、江陽、大島、西中学校区内で増加が見られるものの、その他では減少しており、地区全体では 0.2%の減少となっています。
- 市街化区域内には人口集中地区が広がり、その中で江陽中学校区での人口集積が最も高く、次いで大島、西中学校区で高くなっています。

（2）産業

- 都心地区である千秋が原・古正寺地区や新産業センター、西津地区、雲出工業団地などで就業の場が形成されています。卸売業・小売業、運輸業・郵送業、医療・福祉関連の第三次産業の集積が高いほか、製造業を中心とした第二次産業も盛んです。
- 2015 年時点における経営耕地面積は 2,626ha、農家戸数は 693 戸です。

（3）土地利用

- 総合病院や公共施設等の高度な都市機能は、千秋が原・古正寺地区の都市機能誘導区域に集積しています。
- 商業施設は、千秋が原・古正寺地区の広域型商業集積のほか、国道 8 号沿いの喜多町・堺地区での地域型商業集積が見られます。
- 土地区画整理事業等の宅地供給が進み、人口の定着が見られます。また、工業団地では、西部丘陵東地区や学術研究機関が集積する長岡業務拠点地区（長岡オフィス・アルカディア）において一部に未分譲地があるものの、新たな産業の受け皿となることが期待されています。
- まちなか居住区域の大半が、信濃川等の洪水浸水想定区域に該当しています。

（4）生活基盤

- 関越自動車道「長岡 IC」や北陸自動車道「長岡北スマート IC」の高速道路網のほか、国道 8 号など主要幹線道路が整う交通アクセス性に恵まれた地域です。信濃川左岸バイパスなどの都市計画道路を整備し、ラダー型広域幹線道路網の強化を図っています。
- 公共交通として路線バスが幹線道路で運行され、支所地域を連絡しています。
- 長岡まつりの花火会場となる信濃川河川公園、広域交流の拠点である国営越後丘陵公園、市内外のスポーツ大会を開催する長岡ニュータウン運動公園など、多様な用途に対応できる大規模な都市計画公園が整備されています。
- 上水道は、ほぼ全域に給水しています。下水道については、汚水処理が概成しているものの、河川改修事業に併せて雨水施設の整備を進めています。

2 主な地域資源、地域の宝

- 芸術文化に触れる長岡リリックホールや県立近代美術館、産業交流の場であるハイブ長岡、縄文文化を学ぶ場としての県立歴史博物館、西山連峰をはじめとした豊かな自然等の地域資源があります。



国営越後丘陵公園は、北陸地方唯一の国営公園。西部丘陵地には、火焰土器が出土した馬高三十稲葉遺跡や藤橋歴史の広場など、縄文文化にまつわる施設が多数立地している。



千秋が原・古正寺地区は、JR長岡駅前の中心市街地とともに都心に位置づけられている。広域型商業集積のほか、千秋が原ふるさとの森公園、新潟県立近代美術館、ハイブ長岡、長岡赤十字病院、子育ての駅千秋(てくてく)等の公共施設が集積している。

図 3-1-2-1 ≪主な地域資源 川西地域（長岡地域）≫

3 地域の課題と地域づくりの方針

広域幹線道路網の更なる強化と道の駅を活用した観光資源のネットワーク化、並びに産・学・官が連携した企業誘致により、交流人口の拡大と新たな産業振興を図るほか、河川改修を促進し、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。

(1) 広域幹線道路網の強化による更なる交流機会の創出

人口減少下においても交流人口の拡大を図るため、ラダー型広域幹線道路網や高速道路網への優れたアクセス性を活かし、県域、市域を超えた広域的な地域との連携を図る必要があります。

大積スマート IC（仮称）や信濃川左岸バイパス南北延伸道路の整備を推進するとともに、新たな交流拠点となる道の駅「ながおか花火館」を活用した情報発信を行い、市内の観光資源のネットワーク化を促進し、更なる交流人口の拡大を目指します。

<p>主な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大積スマート IC（仮称）の整備促進 ・長岡ニュータウン連絡道路の整備推進 ・信濃川左岸バイパス南北延伸道路整備事業の推進 ・長岡東西道路の整備促進 ・道の駅を活用した各地域の情報発信の拡充 ・道の駅「ながおか花火館」への高速道路一時退出導入の検討 ・国営越後丘陵公園の更なる整備 ・公園・河川空間の利活用の検討（ニュータウン運動公園、信濃川河川運動公園） など
--------------------	---

(2) 災害に強いまちづくり

信濃川水系河川が市街地内を多数流れる地勢のため、まちなか居住区域を含む市街地や田園地域の大半が洪水浸水想定区域に指定されています。西山などの山間部に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域が指定され、災害への対応が課題となっています。

河川改修に併せて土砂災害対策工事を促進し、治水安全度を高めるとともに、水災害の影響が少ない郊外居住区域のあり方を見直し、頻発・激甚化する豪雨災害から市民の生命・財産を守ります。

主な取組	<ul style="list-style-type: none">・信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの促進・河川改修の促進（道満川、黒川、渋海川、菖蒲川）・河川のしゅん濇（道満川、黒川、河久保川）・土砂災害対策工事の促進・郊外居住区域のあり方を見直し など
------	--

(3) 産・学・官の連携による新たな拠点整備と土地利用の誘導

西部丘陵東地区や長岡業務拠点地区（長岡オフィス・アルカディア）は、技術系学術研究機関である「長岡技術科学大学」や、「(公財) にいがた産業創造機構」、「ながおか新産業創造センター」などの産業支援機関に近接するものの、一部に未分譲地があります。

企業の国内立地ニーズの高まりを好機として、産・学・官の連携による積極的な企業誘致に取り組み、西部丘陵東地区の分譲促進を図ります。併せて、交通アクセス性を活かした新たな産業団地の整備を検討し、産業振興と雇用の場の創出に繋がる土地利用を誘導します。

主な取組	<ul style="list-style-type: none">・長岡技術科学大学と業務拠点地区の連携の促進・新たな産業団地の整備の検討・西部丘陵東地区の更なる分譲促進
------	--

(4) 日常生活に配慮した都市基盤整備の推進

幹線道路や生活道路が整備されている一方で、既存道路は老朽化による損傷が増加しており、計画的な維持修繕が求められています。また、狭小な通学路については、道路拡幅や歩道整備による歩車分離など、歩行環境を向上させる取組が求められています。

道路・橋りょうの長寿命化計画に基づいた維持・修繕を進めるとともに、歩行環境を高める通学路の整備などを推進し、地域の安全・安心に資する都市基盤づくりを目指します。また、鉄道廃線敷を活用した自転車歩行者道の整備を検討するとともに、自転車通行帯の整備を促進し、誰もが安全・安心に移動できる環境の整備を図ります。

主な取組	<ul style="list-style-type: none">・幹線道路、生活道路の整備推進・通学路、歩道の整備推進・長生橋（国道 351 号）の維持補修の継続・鉄道廃線敷を活用した自転車歩行者道整備の検討
------	---

地域づくりの方針図 川西地域(長岡地域)

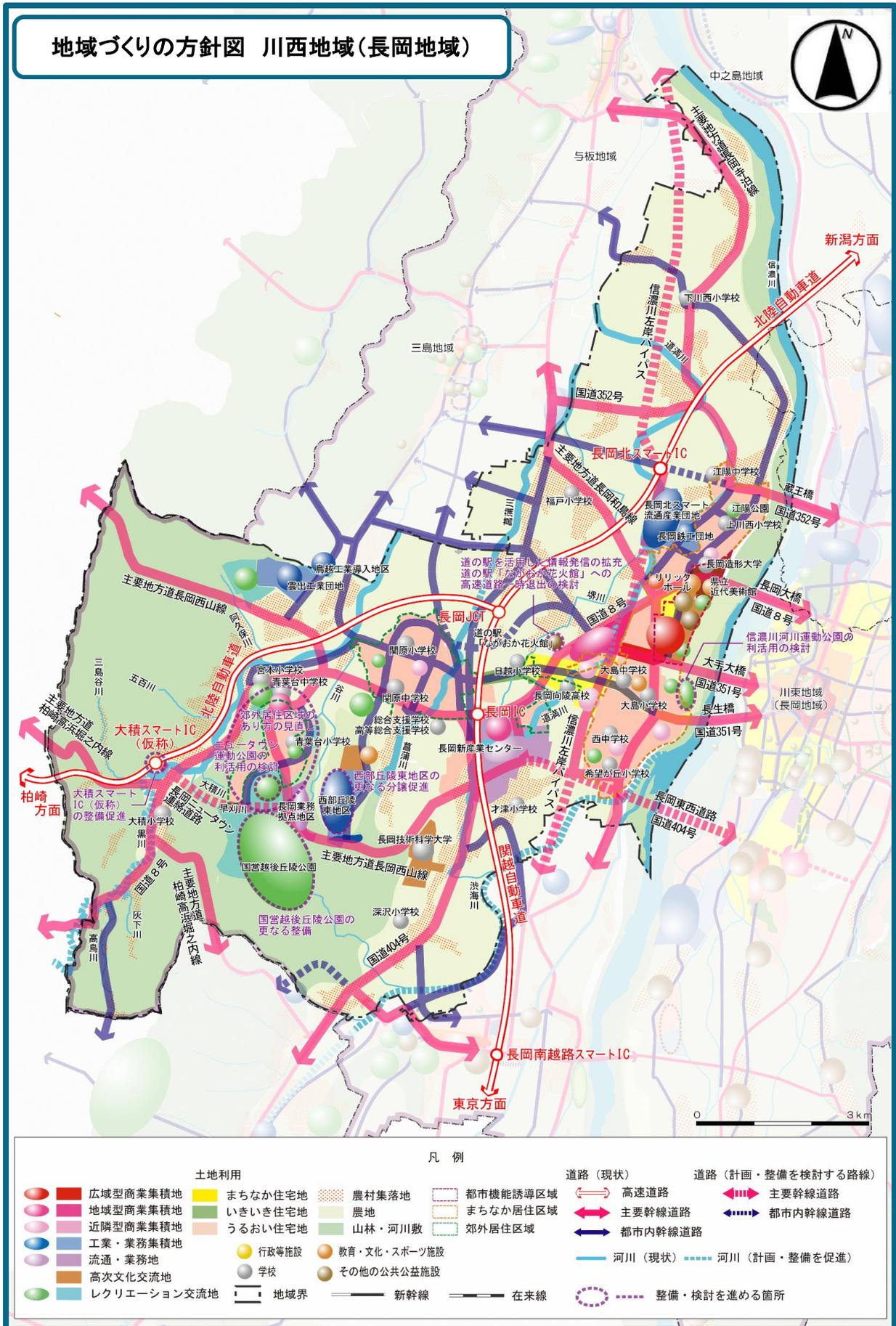
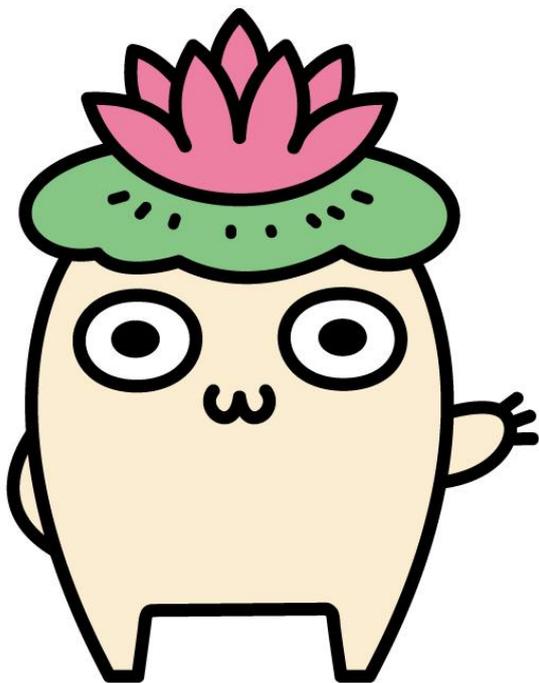
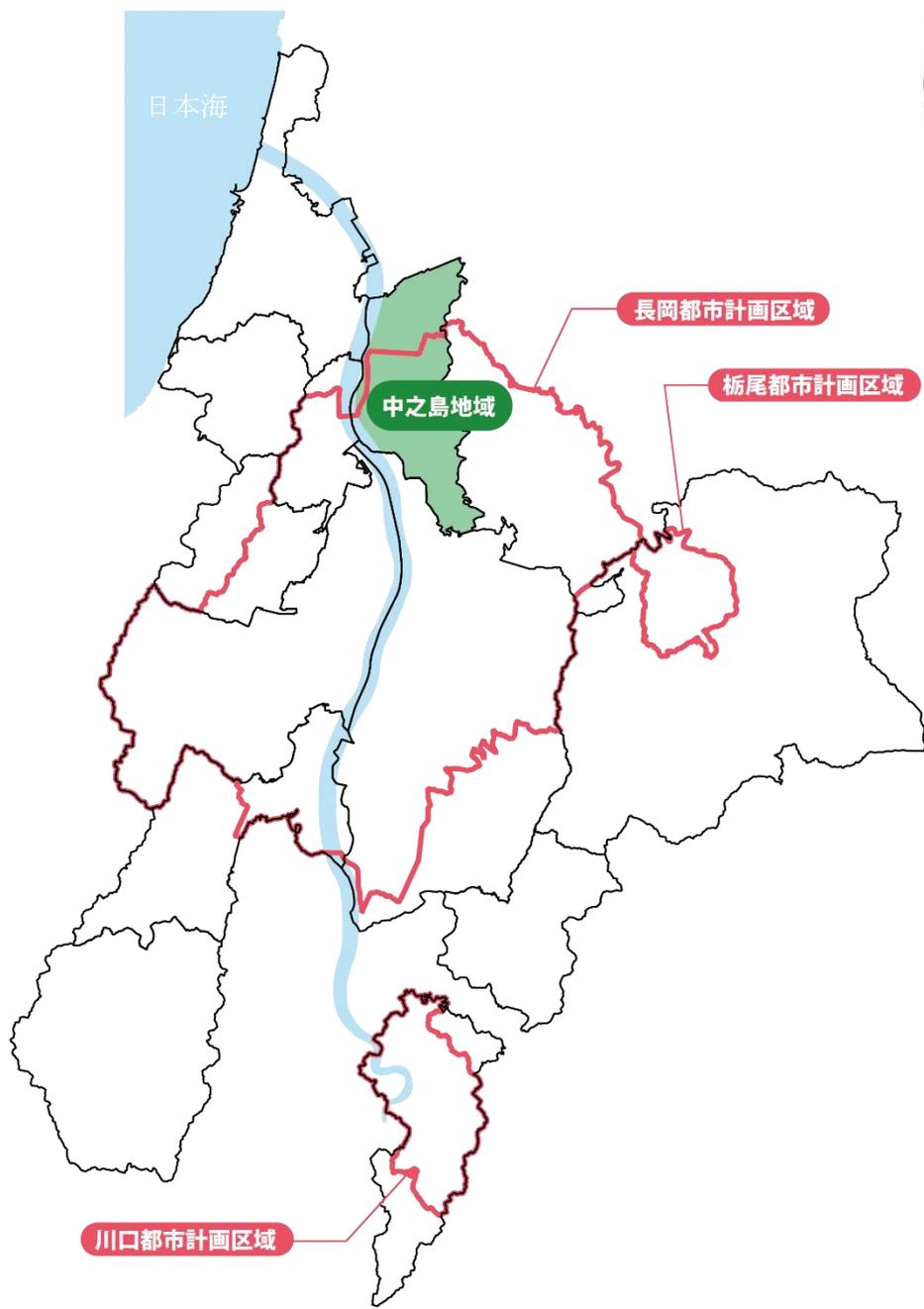


図 3-1-2-2《地域づくりの方針図 川西地域(長岡地域)》



なかのん

第2節 中之島地域



第2節 中之島地域

◀地域に関するデータ

(2020年4月住民基本台帳) ▶

- ・総面積： 42.6 km² (4.8%)
- ・総人口： 11,298人 (4.2%)
- ・世帯数： 3,765世帯 (3.5%)

※ () 内は市全体に占める割合

1 地域の現状

(1) 人口

- 地域人口は、2020年で11,298人。地域別人口増減(2009年～2019年)は、地域全体で8.8%の減少があり、今後も同様の傾向が続く見通しです。
- 中之島地区ほか、支所周辺のまちなか居住区域内に人口が集積しています。日常生活に必要なサービス機能をまちなか居住区域内に維持・確保し、人口密度を高める必要があります。
- 高齢化率(65歳以上人口割合)は、2020年で約32%です。

(2) 産業

- 地域における従業者数は、2016年で4,730人。交通アクセス性を活かした卸売業・小売業が中之島流通団地などで多く、中之島工業団地では機械・金属加工などの製造業が盛んです。卸売業・小売業と運輸業・郵便業で従業者割合の5割以上を占めています。
- 2015年時点における経営耕地面積は2,546ha、農家戸数は638戸です。耕作地の約8割がほ場整備により大区画化され、高生産性農業が可能となったことから、農業経営の効率化が図られています。

(3) 土地利用

- 中之島見附 IC に隣接する中之島地区では、流通・機械・金属加工などの企業が集積し、就業の場を形成しています。さらに、中之島地区には「みずほ団地」が整備され、職住近接の環境が整っています。
- 診療所や商業施設、金融機関をはじめとした公共施設等の都市機能は、支所周辺の都市機能誘導区域内に比較的まとまって立地しています。
- 市街地内の大部分が信濃川等の洪水浸水想定区域に該当しています。2004年の7・13水害を教訓として、河川改修工事が進められています。

(4) 生活基盤

- 北陸自動車道「中之島見附 IC」や国道8号ほか主要幹線道路が整い、恵まれた交通体系を有しています。さらに都市計画公園等の都市基盤も整っています。
- 公共交通として鉄道(JR押切駅)と路線バスが運行されています。バス路線が主要地方道見附中之島線等の幹線道路に限定されているため、公共交通空白地において、地域が主体となった生活交通の確保・維持が始まっています。
- 上水道は、見附市の給水区域に含まれ、供給を受けています。下水道については、汚水処理が概成しています。
- 信条地区では、2024年度の供用開始を目指し、新ごみ処理施設の建設が進められています。

2 主な地域資源、地域の宝

- 360年以上の歴史を有する「見附今町・長岡中之島大凧合戦」など有形・無形の文化財や、優良な農地から生産される農産物などの地域の宝、地域資源があります。

地域の宝「見附今町・長岡中之島大凧合戦」



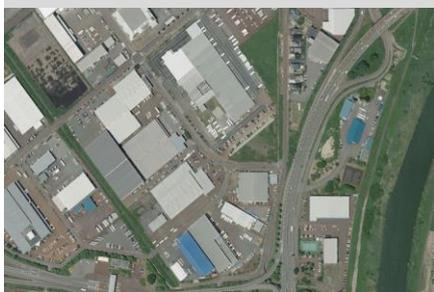
100枚張りの大凧が空を舞う伝統行事。連合町内会単位での大凧の作成・展示や小中学校の大凧体験など地域全体が行事に関われる環境づくりを進めている。

地域の宝「大竹邸記念館」



「憲政の神」として称えられている偉大な政治家、大竹貫一翁の遺徳を偲び、顕彰するため、その遺品や盟友の書など、大竹家代々の所蔵品等を展示している。

中之島見附 IC 周辺



中之島産業まつり



中之島見附 IC 周辺には、中之島流通団地を整備。流通・工業関連企業が立地。流通・機械・金属加工などの企業が集積し、産業が盛んで、米やレンコンなどの特産品がある。

大口れんこん



図 3-2-1 ≪主な地域資源 中之島地域≫

(長岡地域の宝ポータルサイト、長岡市地域の宝磨き上げ事業成果報告書(2018年度)ほか)

3 地域の課題と地域づくりの方針

過去の水害を教訓に、河川改修の促進と優良農地の保全を図り、安全・安心に暮らせる水害に強いまちづくりを進めるほか、交通アクセス性を活かした新たな産業振興と雇用環境の創出に取り組み、地域内人口の確保・維持を図ります。

(1) 水害に強いまちづくり

広範囲に低地帯が広がり、市街地の大部分が洪水浸水想定区域に指定されていることから、浸水被害の軽減をはじめとした水害への対応が課題です。

頻発・激甚化する豪雨災害から市民の生命、財産を守るため、河川の改修工事やしゅん濇、市街地内の浸水対策を推進し、治水安全度を高めます。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中之島川、末宝川の改修工事の促進 ・ 河川のしゅん濇 (刈谷田川ほか) ・ 市街地の浸水対策 <p style="text-align: right;">など</p>
------	---

(2) 交通アクセス性を活かした地域の活性化

中之島地域には、中之島見附 IC や国道 8 号への交通アクセス性と、既存流通産業団地が集積する良好な操業環境が整っています。

この恵まれた環境を最大限に活かしてさらなる地域活力の向上を図るため、IC 周辺での産業の集積・活性化を検討します。

主な取組	・中之島見附 IC 周辺における更なる産業集積の促進
------	----------------------------

(3) 都市機能の集約と定住の促進

支所周辺に公共施設等の都市機能が集積しているものの、まちなか居住区域内にある「みずほ団地」では多くの未分譲地が存在し、課題となっています。

日常生活に必要なサービス機能をまちなか居住区域内に維持・確保していくために、支所周辺に都市機能を集積し、「みずほ団地」における人口の定着と分譲促進を図ります。

主な取組	・みずほ団地の分譲促進
------	-------------

(4) 「地域の足」の確保と安全・安心な歩行空間の整備

バス路線が幹線道路に限定されていることから、地域の一部に公共交通空白地が発生し、住民の移動が課題となっています。

地域特性に応じた地域の足の確保を検討するとともに、通学路をはじめとした生活道路の整備を進め、安全・安心な歩行空間をつくります。また、公共交通の利用促進を図るため、JR 押切駅におけるパークアンドライドの推進について検討します。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR 押切駅前駐車場、駐輪場の拡充の検討 ・ 地域特性に応じた「地域の足の確保」の検討 ・ 生活道路の拡幅改良、通学路の整備 など
------	---

(5) 市民活動の場づくり

中之島地域では、若者を含めて住民が主体的に地域活動に関わっていることから、継続的に取り組める環境を整備し、活動への参加機会を高める必要があります。

既存公共施設を有効活用した大風の絵付け場の確保など、「地域の宝」を守る活動を支援します。併せて、様々な団体が地域活性化に資する活動に取り組めるような環境づくりを支援します。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティセンター機能の再編と強化 ・ 地域の宝磨き上げ事業の支援 ・ 地域活性化に資する活動の場の支援
------	---

(6) 広大な優良農地の維持・保全

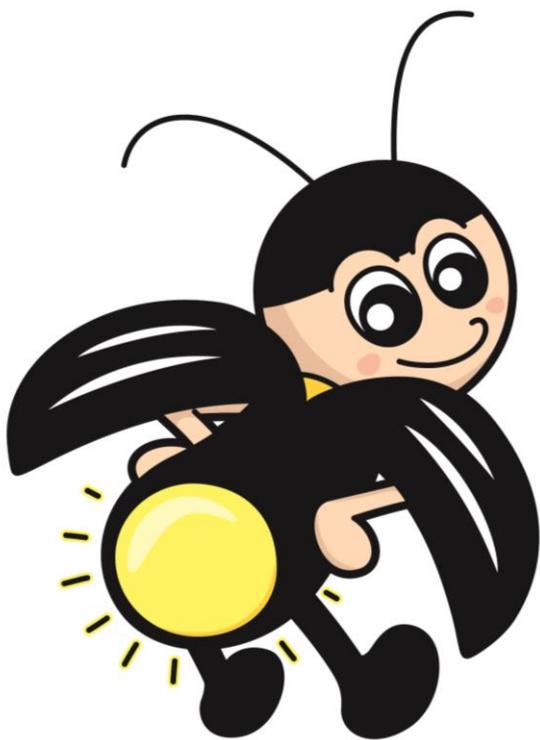
中之島地域に広がる優良農地は、本市を代表する米づくりの生産地であるとともに、魅力ある田園景観を形成し、今後も維持していく必要があります。

ジャンボおにぎりや大口れんこんをシンボルとしたイベントなど、良質な農産物を活用した地域振興や産業振興の取組が盛んです。今後とも継続的に農業基盤整備を行うとともに市街化調整区域における開発を抑制し、農地を適切に保全します。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ かんがい排水事業の実施 ・ 継続的な開発指導 ・ 地元特産品を活用したイベント開催支援
------	---

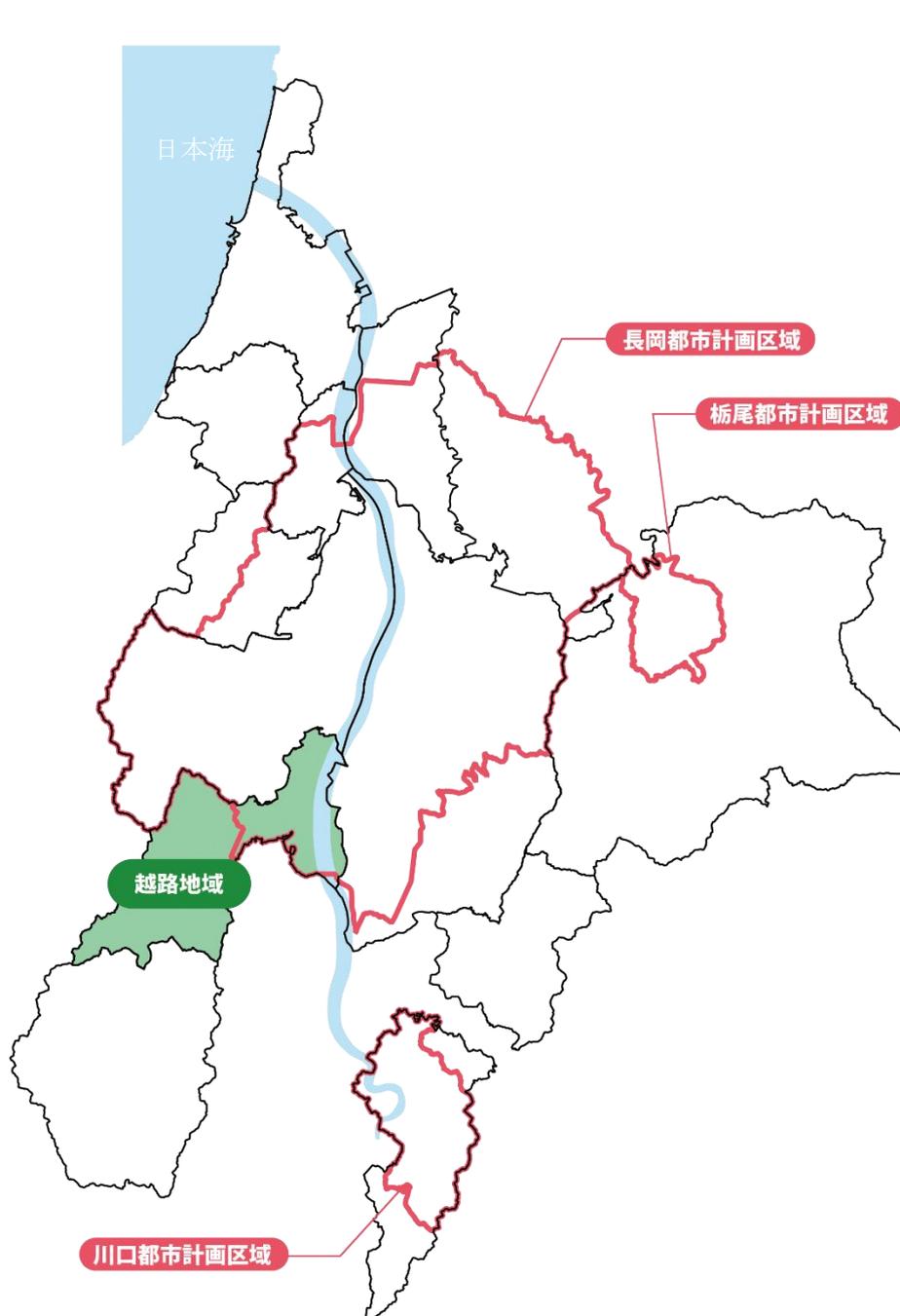


図 3-2-2《地域づくりの方針図 中之島地域》



るんるん

第3節 越路地域



第3節

越路地域

◀地域に関するデータ

(2020年4月住民基本台帳) ▶

- ・総面積： 58.4 km² (6.6%)
- ・総人口： 13,539 人 (5.1%)
- ・世帯数： 4,762 世帯 (4.4%)

※ () 内は市全体に占める割合

1 地域の現状

(1) 人口

- 地域人口は、2020年で13,539人。地域別人口増減(2009年～2019年)は、地域全体で4.3%の減少があり、今後も同様の傾向が続く見通しです。
- まちなか居住区域内のJR来迎寺駅周辺(浦、来迎寺地区)の市街地で人口が集積しています。日常生活に必要なサービス機能をまちなか居住区域内に維持・確保し、人口密度を高める必要があります。
- 高齢化率(65歳以上人口割合)は、2020年で約33%です。

(2) 産業

- 地域における従業者数は、2016年で5,078人。酒、スポーツ用品、米菓などの製造業や建設業、卸売業・小売業が盛んで、製造業の従業者割合が約4割を占めています。
- 2015年時点における経営耕地面積は1,373ha、農家戸数は318戸です。

(3) 土地利用

- 知名度の高い製造業の企業が立地する朝日地区や飯塚・沢下条地区、塚野山地区のほか、JR来迎寺駅周辺において、就業の場を形成しています。
- 診療所や商業施設、金融機関をはじめとした公共施設等の都市機能は、JR来迎寺駅周辺(来迎寺、浦地区)のまちなか居住区域に集積しています。
- 市街地内の大部分が信濃川等の洪水浸水想定区域に該当しています。また、谷戸沿いに広範囲な土砂災害警戒区域が指定され、さらに土砂災害特別警戒区域が散在しています。

(4) 生活基盤

- 関越自動車道「長岡南越路スマートIC」による恵まれた交通体系を有するほか、主要幹線道路として国道351号、国道404号、主要地方道柏崎高浜堀之内線が配置され、地域住民の日常生活や産業振興を支える重要な路線となっています。
- 都市計画道路や都市計画公園が整い、未着手箇所はありません。
- 公共交通として鉄道(JR来迎寺駅、越後岩塚駅、塚山駅)のほか、路線バスがJR利用圏域外を補うように地域内を運行し、国道404号沿いの集落をカバーしているものの、東部地区の一部や塚山地区において、公共交通の空白地域が発生しています。
- 上水道は、ほぼ全域に給水しています。下水道については、汚水処理が概成しています。

2 主な地域資源、地域の宝

- 越路地域には、地域で生産された良質米から製造される酒や米菓などの特産品や、国の重要文化財である「長谷川邸」、「松籟閣」のほか「井上円了頌徳碑」、「宝徳山稻荷大社」、「もみじ園とその周辺」、「ホタル」などの歴史・観光資源があります。そのほか、国内最大級の天然ガスの埋蔵地である「南長岡ガス田」など天然資源も有しています。



図 3-3-1《主な地域資源 越路地域》

(長岡地域の宝ポータルサイト、長岡市地域の宝
磨き上げ事業成果報告書(2018 年度)ほか)

3 地域の課題と地域づくりの方針

広域幹線道路網の強化により、交通アクセス性を活かした産業振興を図るほか、住民や企業による自発的な自然保護活動と地域活性化の取組を支援し、地域資源の魅力向上と新たな交流機会の拡大を進めます。

(1) 交通アクセスと産業基盤の更なる強化

越路地域には、全国的な知名度を持つ企業や製造業が集積していることから、関越自動車道「長岡南越路スマート IC」の更なる活用が求められています。

これらの企業の立地環境を高め、新たな産業基盤の整備を促進するため、長岡南越路スマート IC の交通アクセス性を向上させる「信濃川左岸バイパス南延伸事業」を推進します。また、国道 404 号を補完する重要な幹線道路として「越路原バイパス整備」を推進し、長岡地域との連携強化並びに長岡南越路スマート IC 周辺での産業の集積・活性化を図ります。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信濃川左岸バイパス南延伸事業の推進 ・ 越路原バイパス整備の推進 ・ 長岡南越路スマート IC 周辺の産業の更なる集積・活性化 など
------	--

(2) 観光資源の更なる活用と交流機会の拡大

地域の宝である「ホテル」や「もみじ」などを保全するため、企業や住民が主体となったイベントや自然保護活動が行われ、その継続性が求められています。

このため、これらの自発的な活動を支援するとともに、地域の宝を守る取組を地域全体に広め、観光資源としての価値を高めます。併せて、国の重要文化財である「長谷川邸」や「松籟閣」などの地域資源と、土木学会選奨土木遺産である旧浦村鉄橋を活用したインフラツーリズムの展開により、更なる交流機会の拡大を図ります。

主な取組	・ 自然環境保全の取組促進と観光資源としての活用検討 ・ 観光資源のネットワーク化 ・ 土木遺産を活用したインフラツーリズムの展開 など
------	--

(3) 水害に強いまちづくり

市街地の大部分が洪水浸水想定区域に指定されていることから、浸水被害の軽減をはじめとした水害への対応が課題です。

人口の定着と産業の集積がある来迎寺地区を囲むように流れる渋海川と須川の河川改修を促進し、治水安全度を高め、頻発・激甚化する豪雨災害から市民の生命、財産を守ります。

主な取組	・ 渋海川、須川の改修工事の促進
------	------------------

(4) 「地域の足」の確保と安全・安心な歩行空間の整備

公共交通として鉄道（JR 来迎寺駅、越後岩塚駅、塚山駅）のほか、路線バスが JR 利用圏域外を補うように地域内を運行しているものの、東部地区の一部や塚山地区では、公共交通・生活交通の確保・維持が課題となっています。

路線バスや雪ぼたる号の利用実態に合わせた運行内容の見直しなどの検討を行い、「地域の足の確保」を図り、交通弱者を生まない環境づくりを推進します。併せて、安全・安心な歩行空間を整備するため、歩道の新設などを進めます。

主な取組	・ 雪ぼたる号の運行確保 ・ 安全・安心な歩道空間の整備推進 ・ 踏切の安全対策の検討 など
------	--

(5) 地域産業活性化の場づくり

地域の食や文化を発信するイベントが JR 来迎寺駅前で開催されるなど、地域産業の活性化に資する取組への期待が高まっています。

このため、JR 来迎寺駅前商店街の活性化の取組や広報活動を支援し、公共交通の利用環境の向上、及び新たな賑わい環境の創出を目指します。

主な取組	・ JR 来迎寺駅北側での多目的駐車場の活用 （観光利用、パークアンドライド） ・ JR 来迎寺駅前商店街活性化の取組支援 など
------	--

地域づくりの方針図 越路地域



第3章 地域別構想
第3節 越路地域

図 3-3-2 <<地域づくりの方針図 越路地域>>



みしまる太くん